



ニュース&トピックス

コロナウイルス感染予防の取組み

トライアングルではコロナウイルス感染予防のため、来所された皆様に手指、靴の消毒・検温・マスクの着用をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の支援の在り方について、保護者面談を実施しています。面談は、静岡大学の香野 毅教授が行います。面談を希望される方は、トライアングルスタッフ杉山・赤堀までお声掛けください。日程についてはトライアングル玄関の掲示をご覧ください。

トライアングル説明会について

次年度入所希望の方を対象に、トライアングルの説明会を行います。

開催日:2月10日(木)、2月13日(土)

ご意見・ご感想をお寄せください

第10回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしく申し上げます。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

梅の つばみもほころび始め、寒さの中にも少しずつ春の足音が近づいているのを感じます。中学3年生のみなさんは、進路も決まりほっとしている時期かもしれませんね。暖かくなってきたとはいえ、まだ季節の変わり目、油断してお風邪など召しませんようご注意ください。

ニュースレター第10号をお届けします。育児の参考にいただければ幸いです。

丑（ウシ）年のはじめに思う

静岡大学 教育学部 特別支援教育 教授 香野 毅

伝聞、テレビ、ネット、SNS・・・と情報入手の方法が広がり、その気になれば莫大な量を手に入れられるようになりました。そんな世の中ですが情報の質や満足度では、いまだに「本」が第一位だそうです。



これにはふたつの理由がありそうです。ひとつは「本に書いてあることは価値が高い」です。出版されている（売っている）本とは、書き手以外にも編集者や校閲者など多くの人の作業によって、価値が高まるよう磨かれています。

もうひとつは「読み手の努力が満足度を高める」です。本を選んで、時間を作って、一字一行を目で追って、意味をかみしめて・・・と読書は他に比べて読み手の努力が必要です。この努力感も加わって、満足感が高くなるという仕組みです。苦労して手に入れたものほど大事に感じるのでしょう。

仕事柄、本がいつも近くにあって、どんどん読まねば！と追われるのですが、なかには繰り返し手に取る本もあります。その一冊のなかの「自分を見る技術」というフレーズに今なお心動かされています。



この本は対人援助職の心得や技術について書かれたものです。対人援助職とはカウンセラーやソーシャルワーカーをはじめとして、教師、保育士、医師、看護師などが含まれます。弁護士や警察官だって対人援助ですよ。子育てだって・・・。

援助するには相手のことを理解することがはじまりであり不可欠です。そのためアレコレがこの本には書かれているのですが、そこに「相手を理解しようとしている自分を見なさい」とあるのです。

そしてその技術を磨きなさい！と

この教えは多様です。「相手を理解しようとするとき、価値観や感情が入り混じった自分なりのやり方があるので、そのクセに気づきなさい」は最初に読み取った意味です。次には、「見えている相手の姿というのは自分の視野内の一部に過ぎない」と読みました。教えがときにふと広がります。

『あ～読んだ後に心に留めてもらえるような良書が書きたいなあ～』（今年の抱負）



スタッフ紹介



加藤 理子 先生

好きなこと：動物と触れ合うことが大好きです。家では猫を飼っています。私の最大の癒しです。将来は保健所や里親サイトでなかなか譲渡されない動物たちを集め、一緒に暮らすことが夢です。また、動物愛護に基づくボランティアにも参加したいと思っています。

やりたいこと：より丁寧にトライアングルの子供たち1人1人の心と向き合いたいです。人の心のうちは10人いれば10人違います。そのことを忘れず、楽しかった!!また行きたい!!と思ってもらえるような時間を子供たちと一緒につくっていきたくです。

一言：子供たちが未来への一步を踏み出すためのお手伝いをできたらと思います。よろしくお願いします。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



「おっとっと!!」ワンバウンドして大きく弾んだボール、何とか全身で受け止めました。「ナイスチャレンジ!!」



「今日は僕が記録係をするよ。」遊びの前にルールと役割を決め、共通の目的を持って遊びます。



『だるまさんがころんだ』は鬼がいつ振り向くか分からないのでスリル満点!動かないように必死に姿勢を保つ子供たち。



回る縄に入る練習。失敗しても繰り返し挑戦し続ける子どもの強い気持ちに、縄を回すスタッフの手にも力が入ります。

家庭で使ってほしい子育てのヒント

字を 上手に書けない子どもに、無理やり何度も練習をさせたりしていませんか? 字を書くことが苦手な子どもの中には、視覚的な情報処理や協調運動が苦手だったりすることがあります。「もっとよく見て書きなさい!」「もっと丁寧に書いて!」だけでは子どもを困惑させてしまうだけで、正しく文字を書けるようにはなりません。まずは、書くことへの負担を少しでも和らげてあげる工夫が大事。以下のように、一緒になって取り組んでみてください。

1. 宿題を減らしてもらえよう先生に相談してみましよう。何時間も漢字の書き直しをさせていたら、書くことが嫌いになってしまいます。集中できる時間を上回らない程度に宿題を減らしてもらってください。
2. 子供の負担が軽くなるよう環境を整えましよう。大きいマス目のノートを用意して練習し、うまく消すことができない場合はお母さんが消しゴム係をしてあげるのも良いかもしれません。
3. 子どもの努力を認め誉めることで、自発的に練習できるように促しましよう。少しでも丁寧に書いた文字には、その都度丸をつけて褒めてあげましよう。

スタッフのオススメ ~グッズ編『バランスボード』~

近年、体力低下・運動不足で体幹や体のバランスの弱さが問題視されているといひます。残念なことに、小學校の体育のカリキュラムではこれらの能力が十分に鍛えられることはないというのが実情のようです。体幹筋力が弱いと、『姿勢を保持するのが苦手』『疲れやすい』『じっとしていることが難しい』『指の力が弱い』ために鉛筆を持つのが苦手』など、様々な問題が現れると言われてひます。

そここでお勧めしたいのが今回ご紹介するバランスボード。バランスボードは、その名のとおりボディバランスや体幹・下半身の筋肉を鍛えられるトレーニング用品です。体幹・下半身の筋肉が強化されると、運動能力だけでなく、姿勢がよくなったり集中力や学習意欲の向上にもつながるといひますから、利用しない手はないですよね。しかし、これを買い与えただけでは子どもたちはすぐに飽きてしまひます。トレーニングを意識させずに、親子一緒になって遊び感覚で自然に取り組めるように仕向けることが大事です。トライアングルにも置いてありますので、是非お試しください。



編集後記 家を建てるため、農家の知人宅で居候生活をするこに
なった。家の庭には何羽もの闘鶏が平飼いされている。そ
の中に母親を失った雛が7羽いて、私は勝手にその子たち
の面倒をみるようになった。親のいない雛たちは常に危険にさら
されているので、どうしても過保護になる。最近気付いたのだが、7
羽のうち懐いていない2羽の様子が他の5羽とは明らかに違ひ。す
ごく遅くなってきたのだ。まずい! 甘やかした雛たちは、優し過
ぎて闘鶏としては成功しないかもしれない。子育ては難しい。(M)

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL : 054-273-1177 FAX : 054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ : <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス : triangle@shizuoka-fukushi.or.jp